



2nd Office

前 奏

起立：賛美歌

(祭司 跪いた後、みことばを開き、読み上げる。)

会衆：アーメン

祭司：おこしてください。ふし拝み、ひれ伏しましょう。私たちを造られた方、主の御前に、跪きましょう。

跪 全員

祭司：主よ。あなたは私を探り、私を知っておられます。

会衆：あなたこそは私のすわるのも、立つのも知っておられ、

祭司：私の思いを遠くから読み取られます。

会衆：あなたは私の歩みと私の伏すのを見守り、

祭司：私の道をことごとく知っておられます。

会衆：ことばが私の舌にのぼる前に、なんと主よ、あなたはそれをことごとく知っておられます。

全員

私はあなたの御霊から離れて、どこへ行けましょう。私はあなたの御前を離れて、どこへのがれましょう。

たとい、私が天に上っても、そこにあなたはおられ、私がよみに床を設けても、そこにあなたはおられます。

私が暁の翼をかって、海の果てに住んでも、

そこでも、あなたの御手が私を導き、あなたの右の手が私を捕えます。

たとい私が「おお、やみよ。私をおおえ。私の回りの光よ。夜となれ。」と言っても、あなたにとっては、やみも暗くなく夜は昼のように明るいのです。

祭司：神よ。私を探り、私の心を知ってください。

会衆：私を調べ、私の思い煩いを知ってください。

祭司：私のうちに傷のついた道があるか、ないかを見て、

会衆：私をとこしえの道に導いてください。

祭司【祈り】

会衆「アーメン」

【主の祈り】 全員

天にいます私たちの父よ。

御名が聖とされますように。

御国が来ますように。

みこころが行われますように、

天で行なわれるように、地においても。

私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。

私たちの負いめをお赦してください。

私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。

私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。

国と力と栄えは、とこしえにあなたのもものだからです。

アーメン。

祭司：主よ。まことにあなたはいつくしみ深く、赦しに富み、

会衆：あなたを呼び求めるすべての者に、恵み豊かであられます。

お す く い く だ さ い あ な た の た み を た
か ー め て く だ さ い と こ し え に

立：全員

祭司 神である主、救い主、イエス・キリストに栄光がありますように。

会衆 主はアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。

祭司 アーメン 主のみ名が褒め称えられますように。

ホー リー ホー リー ホー リー ぼ ん ぐ ん の 主
そ の え い 光 ぜ ん 地 に 満 つ そ の え い
光 は ぜ ん 地 に アー メン

【朗誦・詩編交読】

お お な る そ の 名 に さ ん 美 と ほ ま れ を ー
か み の み 名 を て ん ち よ あ が め ま つ れ ー

♪王なるその名に 賛美とほまれを 神のみ名を 天地よあがめまつれ

座 全員

朗読者は（祭壇からみて）祭壇の右側に立って朗読

【第一朗読】 旧約聖書より

【第二朗読】 新約聖書より

【第三朗読】 天界の教えより

みことばを聞いて行う人は幸いです。アーメン

間奏

起立：賛美歌

（祭壇からみて）祭壇の左側にて朗読

【説教】

立 全員

祭司 ただ一人の神であるイエス・キリスト、主が、栄光のうち、とこしえに治められますように。アーメン

全員 讃美歌 奉献

♪今捧げる捧げ物を、主よ清めてお受け下さい。アーメン

祭司（讃美歌 奉献の間に捧げ物を運ぶ。奉献に続いて、奉献文を述べる）

「私は、自由にささげるささげ物をもって、あなたにいけにえをささげます。主よ。いつくしみ深いあなたの御名に、感謝します。」（詩編 54:6）

跪 全員

祭司 祈りましょう。・・・・・・アーメン。

【祝福】

祭司 主、イエス・キリストの恩寵が、いつもあなたがたすべての上にありますように。アーメン

（祭司 跪き、〈みことば〉を閉じ退場）

全員 起立 讃美歌

座 （後奏）